



# 姫路 みなとミュージアム

～ Himeji Port Museum ～



〒672-8063 姫路市飾磨区須加 294 番地  
(姫路ポートセンター2階)  
TEL 079-234-7302

## ACCESS

- 公共交通機関をご利用の場合  
JR姫路駅・山陽電鉄姫路駅から神姫バス「姫路港行き」(駅北1番のりば) 約20分  
山陽電鉄飾磨駅下車、徒歩5分。「飾磨工業高校前」から神姫バス「姫路港行き」約10分
- お車をご利用の場合  
姫路バイパス中地ランプ出口を南へ約4.1km



- 開館時間  
10:00~16:00
- 休館日  
火曜日(火曜日が休日にあたる時はその翌日)  
年末年始(12月28日~1月5日)
- 入館料  
無料
- 駐車  
駐車場はありませんので、周辺有料駐車場をご利用ください。

## 播磨地方の海の玄関口

姫路港は瀬戸内海の東部、播磨地域の中央部の姫路市臨海部に位置する国際拠点港湾で、港湾区域は、東西約18kmに渡り、面積約7,700haを有しており、隣接する重要港湾東播磨港とともに、工業港として、我が国の経済に重要な役割を果たしています。

姫路港は、古くは、瀬戸内海の交通の要衝として、城下町「姫路」を支える港として発展してきましたが、大きく発展したのは戦後であり、公共岸壁の整備と併せ、工場などの立地によって専用施設の整備が進められました。また、本港は、近畿のエネルギーの供給基地でもあり、発電所・LNG基地施設等が立地しています。

野田川の河口に開けた飾磨港(現姫路港(飾磨地区))は古くは、「思賀麻江」と称し、瀬戸内海を往来する船はもとより、遣唐使の船も碇泊して賑わいました。

飾磨江は

漕ぎ過ぎぬらし

天伝う

日笠の浦に

波立てり見ゆ

(万葉集、巻七)



# 姫路みなとミュージアムへようこそ!

～海・みなと・銀の馬車道をテーマとしたミュージアム～  
館内には比べてわかるグラフィックや、映像コーナー、  
休憩コーナーなどもご用意しています。

## 飾磨エリア



明治時代の飾磨や港の姿を  
ジオラマやパネルで  
紹介しています。

## 安らぎエリア

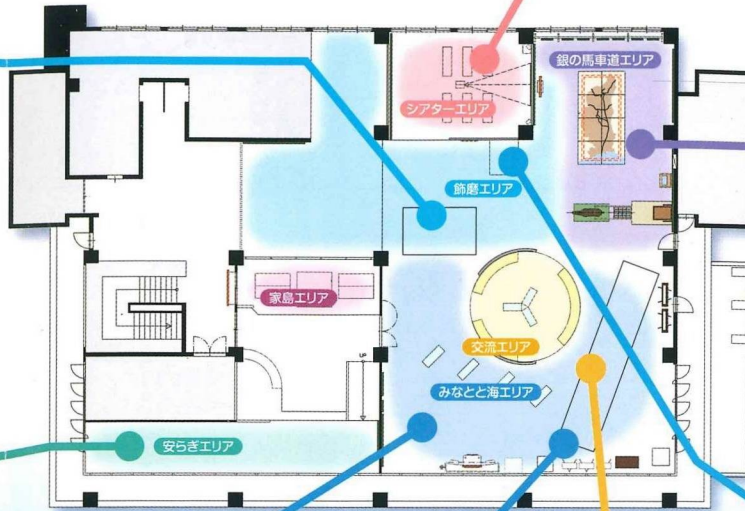


姫路港を眺めながらゆっくり  
休憩していただけます。

## みなとと海エリア



姫路港の今昔の紹介や、操船ゲーム、  
船に設置している鎖の大きさを体感するなど  
みなとや海にまつわる情報を紹介しています。



## シアターエリア



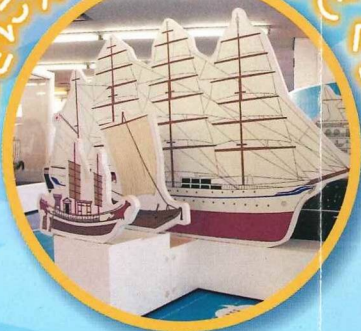
姫路港や播磨の歴史を  
分かりやすいムービーで  
紹介しています。

## 銀の馬車道エリア



馬車道の遺構の展示、  
銀の馬車道クイズなどで  
銀の馬車道について  
学習していただけます。

## 姫路港に来た船の大きさを 体感してください



姫路港に来た船を40分の1  
サイズで紹介  
それぞれの船の大きさを体感  
していただけます。

